

日本外交文書

大正六年 第二冊

外務省

序

『日本外交文書』の編纂公刊が明治年間について完了をみた今日、さらに大正期のわが国外交についての主要な文書を総合的に整理編纂し、これを引き続き『日本外交文書』として系統的に公表する段階となった。

大正期のわが国外交関係はいよいよ多彩となり、その主要な事項には、米国の排日問題の重大化、対中国関係の発展、欧州大戦における参戦、ワシントン会議への参加、シベリア出兵と日ソの復交等がある。本書編纂の目的は、これらの諸事項を機軸として複雑多岐にわたつて展開されたこの時代のわが国外交の経緯を明らかにするとともに、外交交渉上の先例とすることのできる案件について、根本的な資料を豊富に提供することにおかれている。

この目的にそい、外務省が保有する大量の大正年間記録のうちから、外交に関する主要な文書、すなわち条約・協定をはじめ外国側との往復文書等を選定して、これを本書に網羅した。

本書がわが国外交の歴史的発展について客観的かつ公正な知識を形成するための資料となれば幸いである。

昭和三十八年十一月

外務大臣官房国際資料部調査課長

例 言

- 一、本書に収録された文書の基本は外務省記録であり、その他の文書は、戦災・火災により焼失した記録を補う程度に止めた。
 - 二、これらの文書を編集してできた本書の各分冊はそれぞれ連続した年代順の叢書を形成するよう差当り次の要領で区分される。
 - (一) 一般事項
 - (二) 对中国関係事項
 - (三) 主として欧洲大戦関係、ワシントン会議関係の各事項
 - 三、各分冊には原則として当該暦年限りの文書が収録され、これらの文書は各分冊において、それぞれの事項の表題の下に、文書の日付により暦日順に配列されている。
 - 四、本書に収録された文書は原則として原書の完全な再現であり、編集に当つて原書の改変、削除、簡略化等は行われていない。

但し、使用漢字については、条約文、協定文等、特殊な名称、固有名詞等を除いては当用漢字の新字体を用いることとした。
 - 五、大正六年の本書は同年中に展開された中国関係事項についての文書を編集したもので、前記要領により、一般事項は専ら第一冊に、また欧洲大戦関係の文書は専ら第三冊に収録した。
- なお、各分冊末尾の附録は当該分冊限りの日付索引を掲載したものである。

目次

一 張勳ノ復辟ニ関スル件 一

二 中国改革借款一件 一二六

三 对中国借款關係雜件 二三五

 一 交通銀行借款 二三五

 二 興亜公司借款 二九〇

 三 広東省セメント廠借款 三〇四

四 日米提携ニ依ル中国運河改修借款成立ニ関スル件 三一九

 附 日本ノ滿蒙鐵道事業ヘノ米國資本家協同ニ関スル件 四一〇

五 南潯鐵道ニ関スル件 四三四

六 中国ヘノ兵器供給ニ関スル件 四八三

七 滿蒙鐵道借款細目交渉ニ関スル件 五一六

 (四平街鄭家屯鐵道借款)

八 鄭家屯ニ於テ日中兩國軍隊衝突一件 五四九

九 大倉組ノ江蘇省秣陵関附近鉄山開発ニ関スル交渉一件……………五七六

一〇 中国問題ニ関スル西原亀三報告雑件……………六三五

附録 日本外交文書大正六年第二冊日附索引

事項一 張勳ノ復辟ニ関スル件

一 一月六日 本野外務大臣ヨリ
在中国林公使宛(電報)

内蒙独立ニ関シ喀喇沁王ヨリ援助ヲ求メラレ
タルニ対スル林公使ノ「内話」ニ付問合ノ件

第八号(極秘)

客年十二月三十一日發支那駐屯軍司令官ヨリ參謀總長宛電報ニヨレハ陸建章ノ秘書胡媛ハ先頃同駐屯軍附中島通訳官ニ対シ復辟運動ニ関シ談話中先頃喀喇沁王ハ貴官ヲ訪問シ内蒙独立ノ内意ヲ打明ケ貴官ノ援助ヲ求メタルニ貴官ハ内蒙独立ニ際シテハ外蒙ニ於ケル活仏ノ如キ主体ヲ擁立セザルベカラズ此ノ如キ主体有ルヤ否ヤ又今日ノ狀況ニ於テ果シテ成功ノ成算アルヤ否ヤヲ反問セラレタルニ喀喇沁王ハ主体トシテハ宣統帝ヲ推戴スヘク舉事ニ付テハ十分ノ成算アル由ヲ答ヘ右ニ対シ貴官ハ果シテ然ラバ貴官ニ於テモ相当ノ援助ヲ与フルニ躊躇セサル旨言明セラレタリト語りタル由ナルカ右ハ客年中貴官ヨリ機密三六八号ヲ以テ御報告ノ件ニ関係アルモノト思考セラルル処貴官ハ何等右ニ似寄

一 張勳ノ復辟ニ関スル件 一 二

ノ内話ヲ為サレタル事アリヤ否ヤ折返シ電報アリタシ

二 一月七日 在中国林公使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

喀喇沁王トノ会谈内容ニ関シ回電ノ件

第一九号 極秘

貴電第八号ニ関シ陸建章秘書ノ談ナルモノ重要ノ点ニ於テ事實相違セリ喀喇沁王本使來訪ノ節輓近支那政府カ内蒙古ニ対シ庄迫ヲ加フルヲ憂慮シ何トカシテ此ノ庄迫ヲ免レ自治ヲ維持シタキ旨ヲ語りタルニ付本使ハ自治ト云フモ内蒙古ノ全体ニ亘リ之ヲ團結シ諸王公ヲ纏メテ其ノ中心点トナルベキモノアルヤ否ヤ試ニ反問シタル処之ニ対シ清朝ニシテ回復セラルレバ蒙古諸王公ハ之ヲ歡迎スヘシトノ意向ヲ洩シタルモ本使ハ只之ヲ聞流シタル迄ナルハ機密第三六八号拙信報告ノ通ナリ元來漢人中ノ武断派ニハ復辟ヲ希望スル向尠カラズ張勳、張作霖、朱家宝等カ其ノ重ナルモノニテ其他官僚派中ニモ徐世昌ノ如キ人物ヲ以テ中心トナシ漢人ヲ以テ政治ノ枢機ヲ握ルコトトスルニ於テハ清朝ノ回復

一